

事例Ⅰ 分解ショートケース演習③

【問題】

A社が順調に成長してきた理由は社長の経営姿勢に負うところも大きい。A社の成長過程を踏まえながら、A社が成長を遂げた要因を与件より推察し、100字以内で説明せよ。

【出題の趣旨】

本問は、A社が順調に成長することを可能とした要因のうち、経営者の特性や能力による要因を指摘することを求めている。事例情報の理解と中小企業診断士として必要な基本的な分析力が求められる。

【基本理論】

共通 テーマNo.1 環境分析

事例Ⅰ テーマNo.8 雇用管理と人事評価

【解説】

社長の経営者としての能力を分析する問題である。与件情報を丁寧に読めば解答は導き出せる。

社長の経営姿勢として、第一に流行や顧客ニーズに柔軟に対応していることがあげられる。流行に合わせたヘアスタイルの提案はもちろんのこと、新しいコンセプトの店舗（ブランド）等を提供してきている。見落としはいけないことは、流行だけではなく顧客ニーズの変化にも敏感に対応していることである。Xブランドの顧客ニーズが流行から高級感に変わったことに対応してYブランドの創設、Xブランドの方針転換をしている。低価格訴求のZブランドの展開も、顧客ニーズの変化への対応といえる。こうしたビジネスセンスの良さと変化に対応できる柔軟性がA社を発展させてきた要因の一つである。

次に社長が経営に専念してきたことも成長要因の一つである。中小企業ではよくあることだが、戦略的意思決定を担うべき社長が業務的意思決定・管理的意思決定にとらわれてしまうケースが多い。しかしA社では社長が早くから現場を離れ、経営者として必要な意思決定を行ってきたことが類推できる。

ロジカル・チャート

